

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力为上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年9月6日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鹿島DX研究会	代表者名	白川幸一郎
担当者部署	会員	連絡先電話番号	090-8831-9434
担当者役職	相談役	担当者氏名	稲富雅和
		連絡先E-mail	
住所	849-1301 佐賀県鹿島市大字常広2436-3		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	鹿島市役所	連絡先部署	総務部 企画財政課
担当者氏名	山口徹也	連絡先電話番号	0954-63-2101
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当研究会は設立以降、イベントに追われることも多く、初の専門講師の方を招いての講演会であった。これまで、地方地域である鹿島市におけるDXの醸成について、どのように進めていくか曖昧なところもあり、多々議論もあったが、森戸氏の講演により、会員・地域にかかわる主要な人員の理解が深まり、未来の鹿島市ビジョンを共有することができた。これにより、地域DX振興への具体的な道筋を創る素地を固めると共に、やる気の醸成・危機感の共有により地域のDXの取り組みについて、これまで以上の積極性をもって取り組めるようになると思われる。
アドバイザーへの要望事項	今後とも鹿島のDX化について、ご協力をおねがいしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年8月26日	講演(実地)	有	令和4年7月25日	155
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和4年9月3日	講演(実地)	16時00分	18時00分	
				活動時間(分)	120
3-2. 派遣場所	会場名	鹿島市生涯学習センター・エイブル	最寄駅	長崎本線肥前鹿島駅	
	所在地	〒849-1312 佐賀県鹿島市納富分2700-1	最寄駅からの交通手段	タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	県会議員・市会議員・市職員・銀行職員・商工会会員・DX研究会会員	35人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 当研究会は、誰一人取り残さない、DXの考え方を取り入れたまちづくりを目指し、勉強会・啓発イベントを開催している。研究会には、デジタル技術を仕事とする者、一般の事業所にてデジタル技術を利用する者の二者が所属し、社協ボランティアセンターが事務局として纏めている。こうした独自性と将来性を期待され、デジタル社会推進賞奨励賞を頂戴した。その一方で、会員内でのDXに対する理解度に差が生じており、研究活動への注力が求められているが、講師の不在と調査議題の選定力不足が問題となっていた。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	当研究会は最新のDXの動向や国の展望に関する情報が不足している状態であり、DXの最前線で活躍されているアドバイザーに国やデジタル庁、主要機関の目的や今後の動き・予想等について講演頂くことで、鹿島市の将来のビジョンを関連各機関と共有する材料としたい(特に地方創生につながるもの)。また、今後の当研究会の研究・調査活動の指針となるような、高齢化・農林水産・中小企業・地方創生等に関する考え方、ほか地域の取り組みについて、好例を教授頂くことで、鹿島市の不足点について認識を共有し、今後の研究会の調査課題としたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	①規制緩和に伴うチャンスの創造。②地方課題をビジネスに変えようとする都市の動き。③地域ビジネス創造のためのマインドチェンジの必要性。④中小企業DX化を推進する為の行政・商工会・金融のDX化。⑤取り残さないためにデジタルとアナログの選択肢を持つということ。⑥DXとITの決定的	

	な違いは、利益の最大化とウィルビーイングの最大化といえる。⑦U/Tターンの受け入れ環境の重要性。⑧未来を見据えた地方都市のビジョンの明暗。⑨DXはみんなで考える。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	DXのとらえ方から、既存ワークフローの変容例や、マインドセットの変革など、参加者皆それぞれが、DXに関わる意義、新たな気づきを得られる講演であった。 特に鹿島市の未来のビジョンや危機感を、市職員・議員・当研究会員が共有できたこと、意識合わせできたことが、今後のDXを活用した鹿島市のまちづくりに大きく影響すると思われる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本講演会では、市内のDXに関連するであろう要員を、情勢の許す範囲で様々な立場・様々なDXの理解の方々でもって呼びました。そのため、アンケートよりも今後の個別サポート、対面でのご意見の確認が対応するほうが良いと判断したため行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



